

# 中島ゼミ公開トーク

テーマ：「開発と持続性——環境破壊的なアブラヤシ開発をいかに止めるか」

日時： 7月7日(水)17:00～19:00

場所： 外濠校舎 S302 教室

ゲスト： 星川 淳氏(グリーンピース・ジャパン事務局長)

【趣旨】 「開発の人類学」を研究する中島ゼミでは、インドネシアの開発の在り方を検討してきた。インドネシア、マレーシアで世界の80%を生産するパーム油の生産現場には、RSOP(持続的なオイルパーム生産への円卓会議)による環境認証標準が設定された。グリーンピースはこの標準から大きく外れる、インドネシア、シナルマス・グループ産のパーム油を輸入しないようこのキャンペーンを張り、大きな反響を及ぼした。こうした環境破壊的なパーム油生産反対の動きの背景とその反響を分析し、持続性とは何かを考える。

【公開トークの形式】 PARC(アジア・太平洋資料センター)制作のDVD「パーム・オイル——近くて遠い油のはなし」(22分)の視聴／星川淳氏の話／中島のコメント／参加者によるディスカッション

【連絡先】 中島成久(国際文化学部教授) 03-3264-4793;[nnaka@hosei.ac.jp](mailto:nnaka@hosei.ac.jp)

\*この公開トークは、中島の科研費研究(C)「インドネシアのアブラヤシ開発における土地紛争の研究」の研究活動の一環としても実施する。

## \*ゲスト主要著作

著書 『魂の民主主義』(築地書館)、『屋久島水讃歌』(南日本新聞社)、『地球生活』(平凡社ライブラリー)、『環太平洋インターネット紀行』(NTT出版)、『日本はなぜ世界で一番クジラを殺すのか』(幻冬舎新書)

共著 坂本龍一監修『非戦』(幻冬舎)、TUP(平和をめざす翻訳者たち)監修『世界は変えられる』(七つ森書館) に対し日本ジャーナリスト会議より市民メディア賞受賞(04年)。